

山田文彦¹・柿本竜治²・原田翔太³・山本 幸⁴

¹熊本大学教授 社会環境工学科 (〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1)
E-mail: yamada@kumamoto-u.ac.jp

²熊本大学准教授 政策創造研究教育センター (〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1)
E-mail: kakimoto@kumamoto-u.ac.jp

³熊本大学大学院 社会環境工学専攻 (〒熊本市黒髪 2-39-1)
E-mail: 055t1354@std.kumamoto-u.ac.jp

⁴(株)熊本県 上益城振興局局長 (〒861-3206 熊本県上益城町御船 396-1)
E-mail: yamamoto-m-dz@pref.kumamoto.lg.jp

本研究では、地域防災力向上を目指した水害リスクマネジメントシステムを提案するために、水害リスクマネジメントの一環としてワークショップや避難行動実験を実施し、防災意識の調査、水害時の住民の避難行動に関する基礎データの取得・分析をした。PDCA サイクルを1巡後、水害リスクマネジメント手法が地域防災力向上に有効な手法であることが示されたと同時に、新たなニーズとして、さらに地域の実情を取り入れたきめ細かなオーダーメイドの地域防災計画の必要性が確認された。PDCA サイクル2巡目として、地域の実情をさらに取り入れ、まち歩きを実施した結果、一時避難場所や地域独自の防災情報システムの必要性が確認された。

キーワード

リスクコミュニケーション、ワークショップ、水害リスクマネジメント、地域防災、実践研究、避難行動実験

